

# 明日へ



## 原発のない未来を！

### 1. 原発は、とりかえしのつかない災害をもたらします。

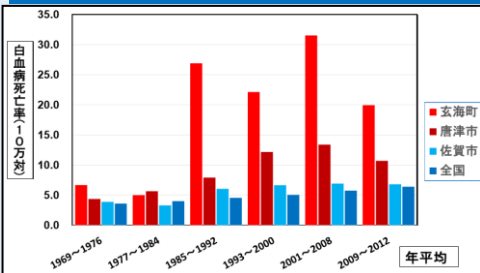
福島原発事故は放射能を大量に放出し、広い地域を放射能で汚染させました。多くの住民が住みなれた故郷を奪われ、生活の糧を奪われました。原発から **50 km離れた飯館村** (いいたてむら) でさえ、**全村民が避難**しなければならなくなりました。土壌汚染のため、農業で生計を立てていた多くの人が、作物を作ることができなくなりました。そのほかの産業も、操業停止や営業停止に追い込まれました。今なお 11 都県の蛇口水からは放射性セシウムが検出されています。放射能の被害は続き、事故は収束していません。原発がひとたび過酷な事故を起こすと、極めて広範囲に、長期にわたって甚大な被害をもたらすのです。

### 2. 原発は、「負の遺産」を発生させます。

原発は、「**トイレのないマンション**」と言われる。原発を動かすと、核のゴミ＝使用済み核燃料がどんどん増えていきます。今、日本には 1 万 8000 トンもの使用済み核燃料があります。ところが、それを処理できていないのです。

使用済み核燃料は高い放射線を出すため、10 万年以上人間は近づくことができません。そのため安定した地盤の地下 300～400m の場所で、10 万年間の隔離が必要です。しかし、**日本にはそのような最終処分場がありません**。原発の再稼働は、使用済み核燃料＝「負の遺産」をますます増やし、未来世代の負担を大きくします。

### 3. 原発は、放射性物質を放出し続けます。



玄海町、唐津市、佐賀市と全国の白血病死率の推移

稼働中の原発は、事故を起こさなくてもさまざまな放射性物質を環境中に放出しています。玄海原発はそのひとつトリチウムを、全国一大量に放出しています。第 56 回日本社会医学会総会 (2015 年 7 月) で「玄海原発と白血病の関連の検討」を発表した森永徹氏は、玄海町や唐津市における**白血病死率**

**の上昇には、その「放出が関与していることが強く示唆される」と述べています。**

### 4. 原発は、国民の資産や血税を無駄に使います。

「原発の電気は安い」というのはウソです。原発立地自治体への交付金、福島原発事故の収束作業や除染、避難者への補償や生活支援事業などは、電気料金への上乗せと税金によってまかなわれています。今後、多数の原発が廃炉をむかえますが、それらの原発の後始末にかかる費用も含めると、**原発処理の経費は最低でも 40 兆円**に上ることが判明しています。**国民一人当たりの負担は 32 万円**になります。原発の電気が安いなどとは決して言えません。むしろ火力や水力発電などより高いのです。

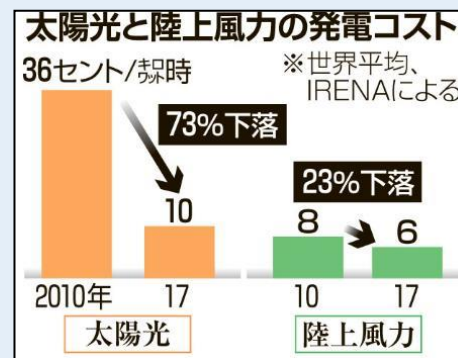
### 5. 原発がなくても電気は足りています。

九州電力は 2015 年、川内原発を再稼働させましたが、それまで日本全体で言えば約 2 年間、九州管内では 3 年 8 か月間、原発による電気は一切ありませんでした。しかし、電気は十分に足りていました。節電や省エネが定着する中、**夏の猛暑日にも、冬の厳寒日にも電気は安定供給**されました。国民生活にも経済産業活動にも、何ら支障をきたしませんでした。むしろ電気は余っていました。政府は 2018 年 5 月、今夏の節電要請をしないと発表しました。3 年連続のことです。政府自身が、電気が十分に足りていることを保証しているのです。

年度	電力販売 (億 kWh)	変化
2007 年度	880 億 8200 万 kWh	10 年間で 13%減
2017 年度	767 億 7500 万 kWh	

### 6. 原発から再エネへの転換が未来をひらきます。

世界は再生可能エネルギーへと舵を切り、原発をベースロード電源とする日本はひどく遅れを取っています。福島原発事故後、ドイツ、イタリア、台湾、韓国などは、次々と脱原発を宣言しました。日本からの原発輸入を検討していたベトナムも、その中止を決定しました。地球温暖化対策として脱炭素化が言われる中、**世界の投資マネーの 75% は再生可能エネルギーに向けられ、原発への投資はわずか 5% に過ぎません**。原発は高コスト・高リスクで避けられているのです。その結果、太陽光や風力の発電コストは「価格破壊」と言われるほどに下落しています。2017 年にドイツでは 36.1%、デンマークでは 43.4% の電力を再生可能エネルギーが供給するまでになっています。私たちの**日本は太陽光、風力、地熱、バイオマス等の再生可能エネルギーの宝庫**です。原発から再生可能エネルギーへのエネルギー転換こそが国民に安心と安全をもたらし、日本の未来を切りひらきます。(2018/06/13 現在)



(東京新聞 2018 年 2 月 12 日)

その結果、太陽光や風力の発電コストは「価格破壊」と言われるほどに下落しています。2017 年にドイツでは 36.1%、デンマークでは 43.4% の電力を再生可能エネルギーが供給するまでになっています。私たちの**日本は太陽光、風力、地熱、バイオマス等の再生可能エネルギーの宝庫**です。原発から再生可能エネルギーへのエネルギー転換こそが国民に安心と安全をもたらし、日本の未来を切りひらきます。(2018/06/13 現在)

# 福島原発事故 (2011年3月11日) を忘れてはならない！

**爆発**

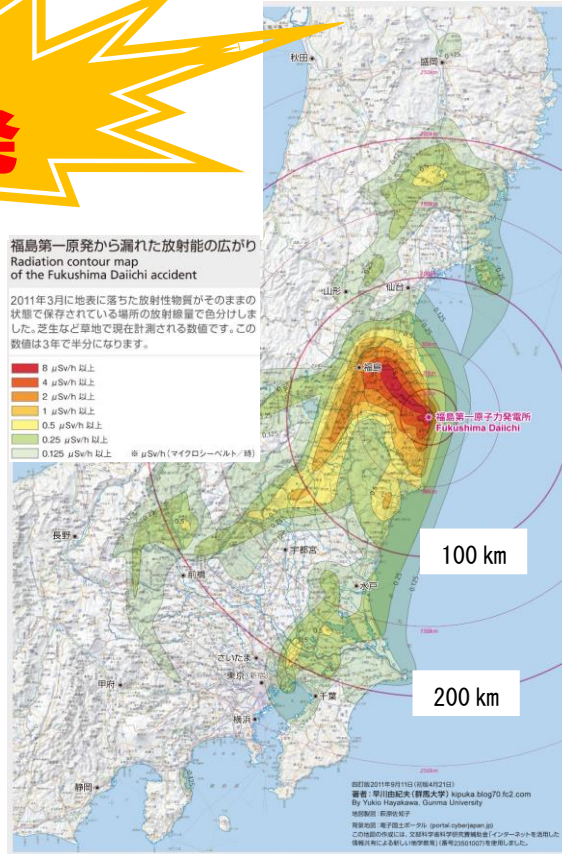


3号機

福島第一原発から漏れた放射能の広がり  
Radiation contour map  
of the Fukushima Daiichi accident

2011年3月に地表に落ちた放射性物質がそのままの状態で見られる場所の放射線量を色分けしました。芝生など草地で現在計測される数値です。この数値は3年で半分にになります。

8  $\mu$ Sv/h 以上  
4  $\mu$ Sv/h 以上  
2  $\mu$ Sv/h 以上  
1  $\mu$ Sv/h 以上  
0.5  $\mu$ Sv/h 以上  
0.25  $\mu$ Sv/h 以上  
0.125  $\mu$ Sv/h 以上 ※  $\mu$ Sv/h (マイクロシーベルト/時)



**原発ゼロ社会を！**  
守ろう！ いのち暮らし 自然



原子力災害対策特別措置法に基づき、2011年3月11日に発令された「原子力緊急事態宣言」は、今も解除されていません。

- ・事故後、福島県の人口は15万人以上減少しました。(18/05/01 福島県)
- ・震災関連自殺者は101人にも上っています。(18/05/25 厚労省)
- ・政府は、国民一般の被ばく限度の20倍にあたる20ミリシーベルトという高濃度の放射能汚染地域へ避難者を帰しています。それでもなお、4万5417人もの方々が避難をされています。(18/06/05 福島県)

戦争と原発のない社会をめざす福岡市民の会

Tel : 090-1088-1215

E-mail : no\_war\_no\_genpatu\_fukuoka@yahoo.co.jp

http : //no-war-no-genpatu-fukuoka.jimdo.com/